

第4回葉山町子ども・子育て会議 議事要旨

- 1 開催日時
平成26年3月3日(月)13時~15時
- 2 開催場所
葉山町役場 2-1、2-2会議室
- 3 開催形態
公開(傍聴者なし)
- 4 出席者
委員17名出席(定足数)。欠席3名(森田委員、中世委員、寺田委員)。
- 5 議事(要旨)
 - (1)開会
(事務局)
 - ・ 子ども育成課長あいさつ。
 - ・ 資料の確認。
 - (2)前回の確認
(事務局)
 - ・ 前回の議事録の確認。
 - ・ 意見照会の確認。
 - ・ 町で把握している「保育に欠ける」状況について口頭で説明。
平成25年10月現在で、葉山保育園122人+にここ保育園97人+管外(町外の認可保育所)43人+待機児童37人=約300人。
このほかに風の子保育園、おひさま保育室を利用している人もいる。
 - ・ 平成26年度予算案の説明。
 - ・ 民間学童クラブの補足説明。
 - (委員)
風の子の学童について口頭で説明あり。
登録者30人で、毎日来るのは20人くらい。
利用料はおやつ・教材費込みで、

1・2年生	2万3000円
3・4年生	1万5000円
5・6年生	1万円

利用時間は18時までで、時間外で19時まで可。土曜は実施なし。

風の子保育園と合同の行事あり。年度末に旅行あり。
学校から帰ったら宿題をみたり、皆で遊びに行ったりする。

(委員)

町の学童と預かり時間は変わらないが、どんな子が入っているのか？

(委員)

風の子保育園の卒園児が多いが、最近は新しく入る子もいる。親御さんの選択肢を増やすことは大事だと思う。

(委員)

町内には小学校は4つあるが、どのように通っているのか？

(委員)

一色小の子は歩いて来る。

長柄小の子はバスで来る。長柄小は児童館の学童もあるが、葉桜と反対方向の子は山を越える必要があるので、労力的にはあまり変わらない。

公立の小学校のほかに、私立の小学校のお子さんもいる。

帰りは必要に応じて送っている。

(3) 議題

- 1 就学前児童ニーズ調査の結果について

(事務局)

- ・ 単純集計の概要について説明。
- ・ 家庭類型について口頭で説明。
 - A ひとり親
 - B フルタイム×フルタイム
 - C フルタイム×パートタイム
 - D 専業主婦(片方のみ就労)
 - E パートタイム×パートタイム
 - F 無業×無業
- ・ 就労時間の下限を48時間、64時間、80時間で試算する。単純集計の家庭類型は48時間で計算したもの。
- ・ 必要サービス量の見込みについては、次回示す予定。

(委員)

単純集計を今後どのように使うのか？

(事務局)

推定児童数に、家庭類型の割合と希望するサービス量をかけて、各事業の量の見込みを算出する。

(委員)

心の育ちを心配している人が多いので、ここのクロス集計をみたい。

調査結果から今後の施策を決めていくとのことだが、もう1ステップはさんで、町全体で決めることはできないか。

今回の制度改革は64年ぶりの大きな改革。消費税の増税分が充てられるとのこと、自分たちの生活の一部が施策になる。調査結果のほかに、お母さんなどの実際の声を聞くことも必要ではないか。

新制度について勉強したい気持ちはあるが、法律がよくわからない。委員を含めて関係者の学びの場も必要ではないか。

調査結果を町のお母さんたちに知ってもらう機会が必要ではないか。

当事者のニーズは聞くべき。例えば、保育申込の下限時間の設定にしても、48時間と64時間ではお母さんたちの働き方に違いが出てくる。

入れものと中味の議論は別。この場で議論すべきことか。

アンケートの数字は大事。

(事務局)

新制度の説明会と意見交換会(意見の吸い上げ)の機会を設ける。

全数調査であること、国から手順が示されていることをふまえて、調査結果の数字は尊重して作業を進める。

説明会・意見交換会の開催が無駄にならないように、計画策定時のどの段階まで意見反映が可能かリミット(期限)を次回示す。

(委員)

子育て支援センターでファミサポや一時預かりをしているが、預かりを求める人がとても増えてきた。スタッフでどのように対応するか頭を抱えている。預かれる人がいないと言う事は簡単だが、支援できないと断りを入れたとき、その家庭はどうなってしまうのか。自分で決められない人が多くなってきたと感じている。そうした面にも向き合えないと変わっていかないのではないか。

- 2 小学生対象ニーズ調査の結果について

(事務局)

- ・ 調査の概要について説明。
- ・ 前回、方向性で一致できず、スケジュールの関係で事務局で調整を行ったことのお詫び。
- ・ 自由記述欄に、「公園が少ない」「葉山でもはまっこ、ふれスクをやってほしい」「自然はあるのに遊び場として生かしていない」「一度家に帰って学校へ遊びに行くルールのハードルが高い」などの意見あり。

今後の放課後の居場所づくり(学童クラブ含む)の検討について

(事務局)

- ・ 学童クラブを中心に議論を行っていくことを説明。
- ・ 現状の確認と今後の検討案を説明。

(委員)

葉桜方面は公共のバスの本数が少ない。学童の今後の検討については、交通面も加味すべきではないか。今後大事になると思う。

学童について、国の基準と町の状況を対比させた資料を示してくれたが、他についてもこのような資料を作成してくれるとわかりやすい。

検討のしきりについて、全児対象の放課後事業は教育委員会で対応するかもしれないとのことだが、この会議と無関係にならないようにしてほしい。

新制度の放課後児童クラブには、全児対象の放課後事業は含まれないのか？

(事務局)

財源の拡充という意味では含まれない。留守家庭児の学童のみ対象。

葉山町子ども・子育て会議の中間報告(案)について

(事務局)

- ・ 委員照会をして原案を修正した。あらためて文書で意見照会する。

(4) その他

(事務局)

以下の事項について説明。

- ・ 次年度のスケジュール
- ・ 保育所運営法人の募集
- ・ 次世代育成支援対策推進法の延長
- ・ 子育て世帯臨時特例給付金

(委員)

シンポジウムの原案について、保護者サイドの委員を中心に相談して5月の会議で提示する。

(委員)

総合計画の審議会が5～10月まで集中審議という形で行われる。何か意見があれば伝えるので教えてほしい。

(5) 閉会

(事務局)

- ・ 次回4月終わりか5月はじめに開催予定。

(以上)